

## 2023 年度 第 1 回常任理事会：議事録

日 時：2023 年 5 月 27 日（土）

14 時 00 分～15 時 40 分

場 所：対面会議（立正大学 8 号館社会心理調査実習室）とオンライン（Zoom 利用）

出席者：古屋健（理事長）、田中真介（副理事長）、上瀬由美子、軽部幸浩、川本利恵子\*、木村友昭、桐生正幸\*、小林剛史、田中堅一郎、谷口淳一（以上、常任理事）

来田宣幸\*（第 88 回大会委員長）、高石光一（第 89 回大会委員長）

事務局：軽部幸浩（事務局長）、時田学、山田順子（以上、幹事）

（\*は欠席者：敬称略、五十音順）

### I 報告事項

#### 1. 理事長挨拶（古屋健理事長）

・理事長より、常任理事会の開催について常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

#### 2. 各委員会報告

##### 1) 機関紙編集委員会（上瀬由美子委員長）

- ・2023 年 7 月発刊予定の『応用心理学研究』第 49 巻 1 号について、原著 5 本、短報 2 本、および 2022 年 11 月の公開シンポジウムの記録が掲載予定であることの報告があった。
- ・2021 年 4 月から 2023 年 5 月までの投稿数は原著 37 本、資料 16 本、短報 21 本の合計 74 本であった。
- ・2021 年 4 月以降の審査状況は、採択論文数 42 本、不採択論文数 23 本、取り下げ論文数 13 本であり、現在審査中の論文数は 13 本であった。採択率は 53.8%であった。

##### 2) 企画委員会（代読：軽部幸浩事務局長）

- ・2023 年度公開シンポジウムについて、「ネガティブな感情・心理の活用と応用」の企画が進行中であることの報告があった。
- ・応用心理士研修会について、「データ解析とメンタルヘルス、AI と犯罪行動」をテーマに計画中であることが報告された。

##### 3) 広報委員会（谷口淳一委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』第 15 号の作成、会員へのアンケート結果について報告があった。
- ・『応用心理学のクロスロード』第 16 号について、6 月中に第 1 回編集委員会を開催予定であることが報告された。
- 4) 「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）
  - ・特になし。
- 5) 国際交流委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
  - ・ICAP2026 は、イタリアのフィレンツェで開催される。
  - ・ICAP 参加にともなう若手研究者への旅費支援等については、支援制度の有無について確認の上、支援制度がある場合は学会 HP へ掲載することになった。
- 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）
  - ・学会賞選考にあたり、推薦の締切は 6 月 5 日（火）であること、また 7 月 2 日（日）に選考委員会を開催予定であることが報告された。
  - ・第 89 回応用心理学会大会の優秀大会発表賞については、口頭発表・ポスター発表のそれぞれについて選考を行うことが報告された。なお、今年度は対面大会のため従来の紙による投票のみとなることが報告された。
- 7) 学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）
  - ・6 月に学会活性化委員会を開催予定であり、応用心理士上級資格について審議を行い申す予定であること、応用心理士を対象とした資格取得動機等の調査実施について検討予定であること、また研究奨励賞の公示を早める提案について審議予定であることが報告された。
- 8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
  - ・2022 年度刊行された書籍について、齊藤勇記念出版賞へ 3 件の応募があった。現在は、選考委員による予備審査を行っていることが報告があった。
- 9) 倫理委員会（田中真介委員長）
  - ・特になし。
- 10) 学会史編纂委員会（古屋健理事長）
  - ・今年度は、名誉会員へのインタビューを再開することが報告された。

3. 2022年度臨時理事会について（古屋健委員長）
  - ・2023年3月に行われた日本学術会議「内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」（令和4年12月6日）について再考を求めます」の件に関する臨時理事会について報告があった。
4. 日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）
  - ・3月31日に臨時理事会が開催され、2024年6月総会終結時までの理事長後任として、沢宮容子理事・副理事長の理事長就任、ならびに阿部恒之理事の副理事長就任が報告された。
  - ・日本学術会議「内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」（令和4年12月6日）について再考を求めます」の件への賛同について、学会HPに掲載されたことが報告され、本件については内閣府により取り下げられたことが報告された。
5. 心理学検定（小林剛史担当常任運営委員）
  - ・第17回心理学検定が2023年7月18日（火）から8月31日（木）の間に、第18回心理学検定が2024年2月15日（木）から3月31日（日）の間に実施されることが報告された。
  - ・第16回心理学検定について計1,209人が受験したことが報告され、合格者は第1級208名、1級246名、2級300名であることがそれぞれ報告された。なお検定結果については4月26日に郵送されたことが報告された。
6. 第89回大会について（高石光一第89回大会委員長）
  - ・第89回大会は「ポストコロナとデータ社会の応用心理学」をテーマに、2023年8月26日から27日の間に開催予定であり、5月27日時点での参加申込数は138人、発表申込数は5月25日時点で82件（申込締切は5月29日）であることが報告された。
  - ・大会企画について、特別講演「AIに創造性は可能か？」およびシンポジウム「ポジティブ心理学の潮流と応用—ポストコロナ時代における健康で幸福な生き方を考える—」、ならびに2つのワークショップ「ポストコロナにおける心身の健康づくり—リーチャヨガの実践—」、「日本の若者の自己意識の研究—ドーパミン測定とワーキングメモリー—」を計画中であることが報告された。
7. 次期役員選挙について（古屋健理事長）
  - ・今期の第7期理事体制の役員任期が2024年3月

31日までであることが報告された。

- ・次期役員選挙については、軽部幸浩事務局長が選挙管理委員長となる。理事および監事の選挙は9月下旬～10月、常任理事は2024年1月～2月、理事長は2024年3月に選挙が行われることが報告された。
8. 常任理事回開催日程について（古屋健理事長）
    - ・2023年度総会、理事会、および常任理事会開催日程について報告がなされた。
  9. 2023年度終身会員申請者について（軽部幸浩事務局長）
    - ・2023年度終身会員について、つぎの10名（大倉元宏氏、大島孝子氏、小西啓史氏、豊村和馬氏、近岡恵子氏、野仲孝壽氏、林倫子氏、堀山みどり氏、森脇保彦氏、善明宣夫氏）の申請があったことが報告された。
  10. 会員異動について（軽部幸浩事務局長）
    - ・2023年度5月15日時点で1,096名（一般会員947名、院生会員50名、学生会員4名、名誉会員31名、終身会員62名、賛助会員2名）である。
  11. その他
    - ・特になし。

## II 審議事項

1. 2023年度予算編成方針に関する件（古屋健理事長）
  - ・予算については原則例年通りとし、各委員会からの要望に応じて個別に対応することが説明された。委員会活動費について審議がなされ、学会活性・若手育成委員会の予算については、認定心理士上位資格検討のための委員会活動費用として30,000円から100,000円に増額することとなった。他委員会の活動費については予算案通り承認された。決算・予算案については、次回理事会において審議予定である。
2. 名誉会員候補者の推薦に関する件（古屋健理事長）
  - ・名誉会員規程について確認がなされ、本年度は該当者なしとなった。
3. 会員情報の更新について
  - ・学会ニュース等で呼びかけて、会員情報に変更があった際には更新するよう依頼することとなった。
  - ・現在、機関誌送付の宛名に記載されている会員情

報の変更や会費納入状況に加えて、会員情報の変更があったときには、学会事務局に連絡をしてもらうことを追記することとなった。

※次回の常任理事会は、2023年7月29日(土)立正大学にて対面、または一部オンライン会議によるハイブリッド会議で開催予定である。

以上

## 2023年度 第2回常任理事会：議事録

日 時：2023年7月29日(土)

14時00分～16時20分

場 所：対面会議(立正大学心理学研究所)とオンライン会議(Zoom利用)

出席者：古屋健(理事長)、田中真介(副理事長)、上瀬由美子、軽部幸浩、川本利恵子\*、木村友昭、桐生正幸\*、小林剛史、田中堅一郎、谷口淳一(以上、常任理事)

来田宣幸\*(第88回大会委員長)、高石光一(第89回大会委員長)

事務局：軽部幸浩(事務局長)、時田学、山田順子(以上、幹事)

(\*は欠席者：敬称略、五十音順)

### I 報告事項

#### 1. 理事長挨拶(古屋健理事長)

・理事長より、常任理事会の開催について常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

#### 2. 各委員会報告

##### 1) 機関紙編集委員会(上瀬由美子委員長)

・規程改定に伴う掲載論文の引用文献表記の確認および出版社との調整により、2023年7月に予定されていた出版が8月に延期となったことが報告された。

・2021年4月以降の審査状況は、採択論文数43本、不採択論文数25本、取り下げ論文数14本であり、現在審査中の論文数は11本であった。採択率は52.4%であることが報告された。

・『応用心理学研究』執筆要領の改定について、資料の一部に表記ミスがあったことが報告された。なお、当該箇所は今回の改定とは関係がない箇所であることから、49巻1号に正しい要領を掲載する

ことが報告された。

##### 2) 企画委員会(代読：軽部幸浩事務局長)

・2023年度公開シンポジウム「ネガティブな感情・心理の活用と応用」が、2023年12月17日(日)13:00～17:00に、筑波大学東京キャンパス(茗荷谷駅)において企画されていることが報告された。

・第89回大会の研修会Aは、宮中大介氏の「産業保健心理学領域におけるAI活用の現状、課題、可能性について」、研修会Bは、梶田真実の「AI犯罪予測が警察業務をどう変える?—最適化アルゴリズムとフィールド実験から学ぶ」を企画していることが報告された。

##### 3) 広報委員会(谷口淳一委員長)

・『応用心理学のクロスロード』第15号について報告がなされた。

・『応用心理学のクロスロード』第16号および発行スケジュールについて報告があった。

##### 4) 「応用心理士」認定審査委員会(小林剛史委員長)

・応用心理士資格について4名からの申請があり、3名は学歴要件を満たすことから認定可能、1名については学会発表要件を満たすことから認定可能であることがそれぞれ報告された。

##### 5) 国際交流委員会(代読：軽部幸浩事務局長)

・ICAP2026は、イタリアのフィレンツェにて現地時間7月20日～26日に開催されることが報告された。

##### 6) 学会賞選考委員会(優秀大会発表賞を含む)(木村友昭委員長)

・学会賞選考結果について審議の依頼があった。

##### 7) 学会活性化委員会(田中堅一郎委員長)

・応用心理士上級資格について、応用心理士資格を保有する会員に対してアンケートを実施予定であることが報告された。調査はGoogle Formsを用いて行い、メールアドレスのある会員にはメールで回答を依頼することが報告された。また、メールアドレスのない会員については郵送で依頼を送付することとなった。

・2023年度「若手会員研究奨励賞」の募集について、メールニュースで告知する方針であることが報告された。また、応用心理学会大会総会においても告知予定であることが報告された。

##### 8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会(代読：軽部幸浩事

務局長)

- ・2022年度齊藤勇記念出版について、予備審査が行われたことが報告された。
- 9) 倫理委員会 (田中真介委員長)
  - ・特になし。
- 10) 学会史編纂委員会 (古屋健委員長)
  - ・今年度からインタビューを再開予定であることが報告された。
- 2. 日本心理学諸学会連合について
  - ・2023年6月10日(土)に開催された第1回社員総会について報告がなされた。
- 3. 心理学検定 (小林剛史委員長)
  - ・「心理学検定 専門用語&人名辞典」の発刊が報告された。
- 4. 第88回大会について (代読: 軽部幸浩事務局長)
  - ・第88回大会発表論文集の準備状況について報告がなされた。また、第88回大会の収支決算報告が8月中旬に提出される予定であることが報告された。
- 5. 第89回大会について (高石光一大会委員長)
  - ・第89回大会について、「ポストコロナとデータ社会の応用心理学」をテーマに、2023年8月26日～27日に亜細亜大学武蔵野キャンパスで開催予定であることが報告された。参加申込数は168人、発表申込数は113件(自主企画ワークショップ9件、ポスター発表78件、口頭発表26件)である。また大会企画については、特別講演1件、ワークショップ2件が企画されていることが報告された。なお、大会のプログラムは7月末～8月初旬の郵送、大会発表論文集は大会会場受付にて配布を予定していることが報告された。
  - ・第88回大会優秀発表賞表彰式は、26日の懇親会において行うこと、受賞者(第一発表者のみ)は、懇親会を招待扱いとすることが報告された。
- 6. 選挙管理委員会より (軽部幸浩事務局長)
  - ・次期役員選出にあたり、選挙管理委員会の発足ならびに理事・監事選挙、常任理事選挙および理事長選挙・副理事長選出の日程について報告があった。
- 7. その他
  - ・特になし。

## II 審議事項

1. 2022年度決算(案)に関する件(軽部幸浩事務局長)
  - ・2022年度収支報告ならびに会計監査報告がなされ、承認された。
2. 2023年度予算(案)に関する件(軽部幸浩事務局長)
  - ・2023年度予算書(案)について説明がなされ、承認された。
3. 学会賞選考に関する件(木村友昭委員長)
  - ・学会賞について論文賞(対象論文4本)、奨励賞(対象論文13本、ノミネート12本)について第1次審査の結果が報告され、論文賞については該当なし、奨励賞1本の推薦が決定されたことが報告され、いずれも承認された。
4. 齊藤勇記念出版賞選考に関する件(代読: 軽部幸浩事務局長)
  - ・2022年度齊藤勇記念出版賞の受賞候補者について報告がなされ、承認された。
5. 名誉会員規程一部改正の件(古屋健理事長)
  - ・日本応用心理学会名誉会員規程の一部改正について、名誉会員推戴資格要件として大会委員長経験者かつ理事経験者(理事経験数に監事経験数を加算可)を加える改正、名誉会員候補対象から常任理事を除外する改正、改廃規程の追加改正、ならびに語句の修正について説明がなされ、いずれも承認された。
6. 2025年度第91回大会(大会当番機関)に関する件(古屋健理事長)
  - ・2025年度第91回大会について、理事長より大会委員長として桐生正幸氏(東洋大学)が推薦され、承認された。
7. 2023年度理事会議題(案)の件(古屋健理事長)
  - ・8月25日(金)15:00から開催予定の2023年度理事会次第(案)について報告がなされ、審議事項として、学会賞選考規程の一部改定に関する件を加えることとなった。
8. 2023年度総会議題(案)の件(古屋健理事長)
  - ・8月26日(土)に開催予定の2023年度総会次第(案)について報告がなされ、承認された。
9. その他
  - ・特になし。

※次回の常任理事会は、2023年8月27日(日)重  
細重大学にて、11:40から開催予定である。

以上

## 2023年度 理事会：議事録

日 時：2023年8月25日(金)

15時00分～16時45分

場 所：吉祥寺エクセルホテル東急

出席者：古屋健(理事長)、田中真介(副理事長)、  
阿南あゆみ\*、伊坂裕子、板津裕己、伊藤武彦\*、  
伊藤令枝、臼井伸之介、角山剛、上瀬由美子\*、  
亀岡聖朗\*、軽部幸浩、川本利恵子\*、来田宣幸\*、  
北川公路、木村友昭、桐生正幸\*、小林剛史、  
佐々木史之\*、佐々木美智子、沢宮容子\*、  
高石光一、田中堅一郎、谷口淳一、種ヶ嶋尚志、  
時田学、外島裕、中井宏、深澤伸幸\*、藤田主一、  
堀洋元、松田浩平、八木善彦\*、山本勝則、  
蓮花一己、和田万紀(以上、理事)  
久保尚也、深見将志(以上、監事)  
事務局：軽部幸浩(事務局長)、時田学、山田順子  
(以上、幹事)

オブザーバー：森下高治

(\*は欠席者：敬称略、五十音順)

### I 理事長挨拶(古屋健理事長)

・理事長より、会議に出席された理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

### II 2023年度第89回大会委員長挨拶(高石光一大会委員長)

・明日から開催される大会の説明と抱負が述べられた。

### III 報告事項

#### 1. 事業報告

##### (1) 会員の異動および会費納入状況(軽部幸浩事務局長)

・2023年8月16日現在の会員数は、一般会員(955名)、院生会員(54名)、学生会員(4名)、名誉会員(31名)、終身会員(72名)、賛助会員(2名)の合計1,118名で、2022年度に対する会員減少は11名であった。

・2016年度から2023年度の会費納入状況についての説明がなされた。

・2023年度の会費納入率は73.8%であった。

#### (2) 委員会報告

##### 1) 機関誌編集委員会(代読：軽部幸浩事務局長)

・機関誌『応用心理学研究』執筆要領改正について報告された。改正内容は、2022年10月に日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」が改訂された内容にあわせるための改正である。

・機関誌『応用心理学研究』の出版状況について報告された。

・2021年4月から2023年8月までの投稿数は、原著論文40本、総説2本、資料論文17本、短報23本の計83本であった。採択率は51.8%であった。

##### 2) 企画委員会(代読：軽部幸浩事務局長)

・2022年度の活動報告として、学会研修会の開催、公開シンポジウム(いわゆる「おおい運動」について考える!)について報告された。

・2023年度の活動予定として、学会研修会の開催、ならびに公開シンポジウム(ネガティブな感情・心理の活用と応用)の企画が報告された。

##### 3) 広報委員会(谷口淳一委員長)

・広報委員会の体制について報告された。

・『応用心理学のクロスロード Vol. 15』は、すでに印刷が終わり機関誌『応用心理学研究』第49巻1号に同封にして郵送されると報告された。

・「クロスロードの今後の発行形態」に関するアンケート(4月29日～5月8日実施)の結果について報告された。

・『応用心理学のクロスロード Vol. 16』の発行までの予定について報告された。

##### 4) 「応用心理士」認定審査委員会(小林剛史委員長)

・2023年度前期申請者は4名であったことが報告された。

##### 5) 国際交流委員会(代読：軽部幸浩事務局長)

・国際応用心理学会(ICAP2026)の開催予定について報告された。

##### 6) 学会賞選考委員会(優秀大会発表賞を含む)(木村友昭委員長)

・2023年度学会賞ならびに2022年度優秀大会発表賞について報告された。

・第89回大会における優秀大会発表賞の投票方法について報告された。

- 7) 学会活性・研究支援委員会(田中堅一郎委員長)
  - ・2023年度の学会活性・研究支援委員会の開催状況について報告された。
  - ・2022年度若手会員研究奨励賞受賞について報告された。
  - ・応用心理士上級資格(上級応用心理士)の設置案、ならびに応用心理士を対象とした上級資格に関する調査の計画について報告された。
  - ・若手会員研究奨励賞公募について、8月3日に公示されたことが報告された。
- 8) 倫理委員会(田中真介委員長)
  - ・基本方針と具体的な活動について報告された。
- 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会(代読: 軽部幸浩事務局長)
  - ・松浦常夫氏著『高齢ドライバーの意識革命 安全ゆとり運転で事故防止』(福村出版, 2022年4月20日発行)が選考されたことが報告された。
- 10) 学会誌編集委員会(古屋健理事長)
  - ・名誉会員へのインタビュー企画の状況について報告された。
2. 一般社団法人日本心理学書学会連合(日心連)について(古屋健理事長)
  - ・第16回社員総会について報告された。
3. 心理学検定について(小林剛史委員長)
  - ・第17回および第18回心理学検定について報告された。
  - ・第17回心理学検定より、団体受験制度は10名からの申請が可能となったことが報告された。
  - ・『心理学検定 専門用語&人名辞典』(2023年度6月14日)の刊行について報告された。
4. 第88回大会について(代読: 軽部幸浩事務局長)
  - ・2022年9月17日~18日に京都工芸繊維大学で開催された第88回大会について報告された。
  - ・大会参加者数は、会員(151名)および非会員(70名)の計221名であった。
  - ・第88回大会発表論文集の発行が遅れて、8月29日頃に印刷が終わる予定と報告された。
  - ・大会論文集の発行が遅れている件について、大会論文集は業績の証憑書類となる場合もあることから、今後は電子媒体での発刊も含め年度内の発刊を目指すべきであるとの意見が出された。
5. 選挙管理委員会から(軽部幸浩委員長)
  - ・「理事・幹事選挙(2023年10月2日~10月26

日)」、「常任理事選挙(2024年1月17日~1月31日)」、「理事長選挙・副理事長選出(2024年3月)」について、選挙管理委員会の発足および各選挙の日程について報告された。

## 6. その他

- ・特になし

## IV 審議事項

1. 2022年度決算(案)に関する件(軽部幸浩事務局長)
  - ・2022年度支出の部【事業費】において、若手研究奨励金の予算額が「0」となっている件について確認がなされ、若手研究奨励金はこれまで別途会計とされており、2022年度から新規項目として本会計に計上することとなったために当初予算額が「0」となったことが説明された。
  - ・監事より2022年度の収支計算書に関する監査結果が報告された。
  - ・2022年度の収支計算書(案)が開示され審議の結果、承認された。
2. 2023年度予算(案)に関する件(軽部幸浩事務局長)
  - ・若手育成基金積立金について、今後は別途会計ではなく本会計に新規項目として計上することが報告された。
  - ・2023年度予算書(案)が開示され審議の結果、承認された。
3. 学会賞規程一部改正の件(古屋健理事長)
  - ・改正の内容は次のとおりである。
  - 1) 「日本応用心理学会学会賞選考細則」の内容を学会賞規程に統合して、細則は廃止とする。
  - 2) 優秀賞を優秀論文賞(Best Paper Award)に、奨励賞を奨励論文賞(Encouragement Award)にそれぞれ変更とする。
  - 3) 優秀大会発表賞選考のための会員投票で自薦を可とする。
  - 4) 学会賞を受賞した第1著者は、原則として、以後、第1著者として同賞を受賞することができない。奨励論文賞を受賞した者が、優秀論文賞を受賞することは可。
  - 5) 賞受賞者の表彰は総会で行うこと、および受賞者には副賞が授与されることを明記。
  - 6) 改廃を追加。

・日本応用心理学会学会賞規程の一部改正について説明があり、承認された。

#### 4. 名誉会員の推薦に関する件（古屋健理事長）

・次年度は、「該当者なし」と説明され、承認された。

#### 5. 名誉会員規程一部改正の件（古屋健理事長）

・改正の内容は次のとおりである。

1) 名誉会員候補者は、常任理事を除く。

2) 該当資格に、「大会委員長経験者で常任理事1期以上」「大会委員長経験者で理事3期以上（理事経験に監事経験1期含む）」を追加。

#### 3) 改廃を追加。

・日本応用心理学会名誉会員規程の一部改正について説明があり、承認された。

#### 6. 2025年度第91回大会委員長（大会当番機関）（古屋健理事長）

・2025年度第91回大会について、大会委員長に桐生正幸氏（東洋大学）が推薦され、承認された。

#### 7. その他

・特になし

### V 2024年度第90回大会委員長挨拶（谷口淳一大会委員長）

・大会委員長の谷口淳一氏（帝塚山大学）から大会開催についての挨拶があった。

・第90回大会は2024年8月27日（火）～28日（水）に開催予定であること、ならびに理事会は2024年8月26日（月）に開催予定であることが報告された。

以上

## 2023年度 総会：議事録

日 時：2023年8月26日（土）

11時45分～13時40分

場 所：亜細亜大学 2号館200教室

出席者：127名

総会は、司会の軽部幸浩事務局長による開会宣言の後、次第にしたがって進められた。

### I 理事長挨拶（古屋健理事長）

・理事長より、会議に出席された会員の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

### II 2023年度第89回大会委員長挨拶（高石光一大会委員長）

・大会参加者へ感謝の言葉が述べられた。

### III 議長選出（軽部幸浩事務局長）

・慣例に従って、来田宜幸大会委員長が議長として選出された。

### IV 報告事項

#### 1. 事業報告

##### (1) 会員の異動および会費納入状況（軽部幸浩事務局長）

・2023年8月16日現在の会員数は、一般会員（955名）、院生会員（54名）、学生会員（4名）、名誉会員（31名）、終身会員（72名）、賛助会員（2名）の合計1,118名で、2022年度に対する会員減少は11名であった。

・2016年度から2023年度の会費納入状況についての説明がなされた。

・2023年度の会費納入率は73.8%であった。

##### (2) 委員会報告

###### 1) 機関誌編集委員会（代読：軽部幸浩事務局長）

・機関誌『応用心理学研究』執筆要領改正について報告された。改正内容は、2022年10月に日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」が改訂された内容にあわせるための改正である。

・機関誌『応用心理学研究』の出版状況について報告された。

・2021年4月から2023年8月までの投稿数は、原著論文40本、総説2本、資料論文17本、短報23本の計83本であった。採択率は51.8%であった。

###### 2) 企画委員会（代読：軽部幸浩事務局長）

・2022年度の活動報告として、学会研修会の開催、公開シンポジウム（いわゆる「あおり運転」について考える！）について報告された。

・2023年度の活動予定として、学会研修会の開催、ならびに公開シンポジウム（ネガティブな感情・心理の活用と応用）の企画が報告された。

###### 3) 広報委員会（谷口淳一常任理事）

・広報委員会の体制について報告された。

・『応用心理学のクロスロード Vol. 15』は、すでに印刷が終わり機関誌『応用心理学研究』第49巻1



号に同封にして郵送されると報告された。

- ・「クロスロードの今後の発行形態」に関するアンケート（4月29日～5月8日実施）の結果について報告された。
- ・『応用心理学のクロスロード Vol. 16』の発行までの予定について報告された。
- 4) 「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史常任理事）
  - ・2023年度前期申請者は4名であったことが報告された。
- 5) 国際交流委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
  - ・国際応用心理学会（ICAP2026）の開催予定について報告された。
- 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭常任理事）
  - ・2023年度学会賞ならびに2022年度優秀大会発表賞について報告された。
  - ・第89回大会における優秀大会発表賞の投票方法について報告された。
- 7) 学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎常任理事）
  - ・2023年度の学会活性・研究支援委員会の開催状況について報告された。
  - ・2022年度若手会員研究奨励賞受賞について報告された。
  - ・応用心理士上級資格（上級応用心理士）の設置案、ならびに応用心理士を対象とした上級資格に関する調査の計画について報告された。
  - ・若手会員研究奨励賞公募について、8月3日に公示されたことが報告された。
- 8) 倫理委員会（田中真介副理事長）
  - ・基本方針と具体的な活動について報告された。
- 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
  - ・松浦常夫氏著『高齢ドライバーの意識革命 安全ゆとり運転で事故防止』（福村出版、2022年4月20日発行）が選考されたことが報告された。
- 10) 学会史編纂委員会（古屋健理事長）
  - ・名誉会員へのインタビュー企画の状況について報告された。
- 2. 日本応用心理学会学会賞規程一部改正について（古屋健理事長）
  - ・2023年8月25日に開催された理事会において承

認された、日本応用心理学会学会賞規程の一部改正について報告された。

- 3. 名誉会員規程一部改正について（古屋健理事長）
  - ・2023年8月25日に開催された理事会において承認された、日本応用心理学会名誉会員規程の一部改正について報告された。
- 4. 一般社団法人日本心理学諸学会連合（日心連）について（古屋健理事長）
  - ・第16回社員総会について報告された。
- 5. 心理学検定について（小林剛史常任運営委員）
  - ・第17回および第18回心理学検定について報告された。
  - ・第17回心理学検定より、団体受験制度は10名からの申請が可能となったことが報告された。
  - ・『心理学検定 専門用語&人名辞典』（2023年度6月14日）の刊行について報告された。
- 6. 第88回大会について（代読：軽部幸浩事務局長）
  - ・2022年9月17日～18日に京都工芸繊維大学で開催された第88回大会について報告された。
  - ・大会参加者数は、会員（151名）および非会員（70名）の計221名であった。
  - ・第88回大会発表論文集の発行が遅れていて、8月29日頃に印刷が終わる予定である。
- 7. 選挙管理委員会から（軽部幸浩選挙管理委員長）
  - ・「理事・幹事選挙（2023年10月2日～10月26日）」、「常任理事選挙（2024年1月17日～1月31日）」、「理事長選挙・副理事長選出（2024年3月）」について、選挙管理委員会の発足および各選挙の日程について報告された。
- 8. その他

## V 審議事項

- 1. 2022年度決算に関する件（軽部幸浩事務局長）
  - ・2022年度支出の部【事業費】において、若手研究奨励金の予算額が「0」となっている件について確認がなされ、若手研究奨励金はこれまで別途会計とされており、2022年度から新規項目として本会計に計上することとなったために当初予算額が「0」となったことが説明された。
  - ・監事より2022年度の収支計算書に関する監査結果が報告された。
  - ・2022年度の収支計算書（案）が開示され審議の結果、承認された。



## 2. 2024年度予算に関する件(軽部幸浩事務局長)

- ・若手育成基金積立金について、今後は別途会計ではなく本会計に新規項目として計上することが報告された。
- ・2023年度予算書(案)が開示され審議の結果、承認された。

## 3. 2025年度第91回大会委員長(大会当番機関)に関する件(古屋健理事長)

- ・2025年度第91回大会について、桐生正幸氏を大会委員長として東洋大学で開催することが提案され、総会にて推薦することが承認された。

## 4. その他

## VI 議長解任

## VII 2024年度第90回大会委員長挨拶(谷口淳一大会委員長)

- ・大会委員長の谷口淳一氏(帝塚山大学)から大会開催についての挨拶があった。
- ・第90回大会は2024年8月27日(火)~28日(水)に開催予定であることが報告された。

## VIII 授与式(古屋健理事長)

- ・古屋健理事長より若手会員研究奨励賞、学会賞(奨励賞)、齊藤勇記念出版賞の賞状授与が行われた。

以上

## 日本応用心理学会 2022 年度決算書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

| 収入の部                                    |            |            | 支出の部                    |            |            |
|-----------------------------------------|------------|------------|-------------------------|------------|------------|
|                                         | 決算額        | 予算額        |                         | 決算額        | 予算額        |
| 【会費】                                    | 7,825,000  | 7,485,000  | 【事業費】                   | 1,120,000  | 1,180,000  |
| 過年度入金                                   | 598,000    | 400,000    | 第 88 回大会補助費             | 800,000    | 800,000    |
| 当年度入金（一般会員 857 名・内 1 名<br>不足分 2000 円入金） | 6,850,000  | 6,700,000  | 学会賞                     | 60,000     | 60,000     |
| 当年度入金（院生会員 37 名）                        | 222,000    | 250,000    | 心理学諸学会連合年会費             | 60,000     | 60,000     |
| 当年度入金（学生会員 3 名）                         | 9,000      | 9,000      | シンポジウム・講演費謝金            | 70,000     | 200,000    |
| 減免対象者                                   | 0          | 18,000     | 研修会講師料                  | 30,000     | 60,000     |
| 前受金                                     | 86,000     | 48,000     | 若手研究奨励金                 | 100,000    | 0          |
| 賛助会員                                    | 60,000     | 60,000     | 【委員会活動費】                | 434,201    | 1,180,000  |
| 【「応用心理士」関係】                             | 280,000    | 400,000    | 機関誌編集委員会                | 157,025    | 300,000    |
| 審査料                                     | 70,000     | 100,000    | 企画委員会                   | 200,000    | 200,000    |
| 認定料                                     | 210,000    | 300,000    | 広報委員会                   | 27,284     | 300,000    |
| 【機関誌・雑収入等】                              | 1,025,574  | 656,015    | 認定審査委員会                 | 3,700      | 50,000     |
| 機関誌売上                                   | 462,500    | 450,000    | 国際交流委員会                 | 0          | 50,000     |
| 雑収入（大会校返戻金）                             | 0          | 0          | 学会活性・研究支援委員会            | 0          | 30,000     |
| 雑収入（大会論文集、抜き刷り等）                        | 72,490     | 100,000    | 学会賞選考委員会                | 46,192     | 50,000     |
| 著作権使用料                                  | 488,542    | 100,000    | 倫理委員会                   | 0          | 30,000     |
| 受取利息                                    | 42         | 15         | 齊藤勇記念出版賞選考委員会           | 0          | 20,000     |
| 減免補助（齊藤勇）                               | 2,000      | 6,000      | 学会史編纂委員会                | 0          | 150,000    |
|                                         |            |            | 【印刷費】                   | 2,695,097  | 3,560,000  |
|                                         |            |            | 機関誌                     | 2,207,370  | 3,000,000  |
|                                         |            |            | 広報関係                    | 443,520    | 500,000    |
|                                         |            |            | その他                     | 44,207     | 60,000     |
|                                         |            |            | 【通信費】                   | 654,043    | 800,000    |
|                                         |            |            | 機関誌郵送費（広報誌含）            | 309,530    | 500,000    |
|                                         |            |            | その他（領収書、会費請求送料等）        | 344,513    | 300,000    |
|                                         |            |            | 【事業外経費】                 | 2,591,031  | 3,245,000  |
|                                         |            |            | 常任理事会交通費                | 98,500     | 100,000    |
|                                         |            |            | 事務局運営費                  | 436,090    | 700,000    |
|                                         |            |            | 事務局委託費                  | 1,463,000  | 1,500,000  |
|                                         |            |            | 会計作業委託費                 | 200,000    | 200,000    |
|                                         |            |            | 機関誌電子投稿システム費            | 274,127    | 300,000    |
|                                         |            |            | J-Stage 登載費（機関誌第 48 巻）* | 0          | 300,000    |
|                                         |            |            | サーバーホスティング料             | 54,494     | 55,000     |
|                                         |            |            | ドメイン料                   | 7,480      | 10,000     |
|                                         |            |            | ハンドブック制作費               | 30,000     | 30,000     |
|                                         |            |            | 決済手数料（支払手数料）            | 27,340     | 30,000     |
|                                         |            |            | 予備費                     | 0          | 20,000     |
| 小計（A）                                   | 9,130,574  | 8,541,015  | 小計（B）                   | 7,494,372  | 9,965,000  |
|                                         |            |            | （A）－（B）＝単年度収支           | 1,636,202  | △1,423,985 |
|                                         |            |            | 前期繰越金                   | 3,243,518  | 3,243,518  |
|                                         |            |            | 次期繰越金（C）                | 4,879,720  | 1,819,533  |
|                                         |            |            | 英文特集号積立金 **             | 250,000    | 250,000    |
|                                         |            |            | 選挙関連費用積立金 ***           | 150,000    | 150,000    |
|                                         |            |            | 若手育成基金積立金 ****          | 100,000    | 100,000    |
|                                         |            |            | 積立金計（D）                 | 500,000    | 500,000    |
|                                         |            |            | 次期繰越金（C）－（D）            | 4,379,720  | 1,319,533  |
| 小計                                      | 9,130,574  | 8,541,015  | 合計（B）＋（D）               | 7,994,372  | 10,465,000 |
| 前年度繰越金                                  | 3,243,518  | 3,243,518  | 次期繰越金                   | 4,379,720  | 1,319,533  |
| 合計                                      | 12,374,092 | 11,784,533 | 合計                      | 12,374,092 | 11,784,533 |

2022 年度収支（＋） 1,136,202 円

\* 例年 J-Stage 登載料は前年度発行分を当年度費用に計上しているが、2021 年度発行分は 2021 年度に費用計上済のため。

\*\* 例年通り、英文年報特集号発行のため積立てた。

\*\*\* 例年通り、選挙関連費用として積み立てた。

\*\*\*\* 若手育成基金へは、例年通り 10 万円の積立を積立てた。

## &lt;貸借対照表&gt;

(一般会計)

| 資産の部     |           | 負債の部             |           |
|----------|-----------|------------------|-----------|
| みずほ年会費口座 | 3,691,981 | 未払金              | 1,913,351 |
| 郵便振替口座   | 1,771,090 |                  |           |
| 前払費用     | 800,000   |                  |           |
| 未収金      | 30,000    | 合計               | 1,913,351 |
|          |           | 基本金の部            |           |
|          |           | 次期繰越             | 4,379,720 |
|          |           | (前期繰越 3,243,518) |           |
|          |           | (当期収支 1,136,202) |           |
| 合計       | 6,293,071 | 合計               | 6,293,071 |

\*前払費用は、2023 年度開催の第 89 回大会準備金であるが、資金は 2022 年度に振り込んだため計上した。なお、大会準備金としての経費計上は 2023 年度である。

\*未収金は、倫理委員会の 2022 年度予算未返金分である。

## &lt;別途会計&gt;

## 1. 特別企画積立金 (1)

|            |           |
|------------|-----------|
| 2021 年度繰越金 | 3,390,186 |
| 受取利息       | 38        |
|            | 3,390,224 |

## 3. 英文特集号積立金 (1)

|            |           |
|------------|-----------|
| 2021 年度繰越金 | 901,512   |
| 2022 年度積立金 | 250,000   |
|            | 1,151,512 |

## 2. 若手育成基金積立金 (2)

|            |           |
|------------|-----------|
| 2021 年度繰越金 | 2,284,018 |
| 2022 年度積立金 | 100,000   |
| 受取利息       | 20        |
|            | 2,384,038 |

## 4. 選挙費用積立金 (1)

|            |         |
|------------|---------|
| 2021 年度繰越金 | 447,229 |
| 2022 年度積立金 | 150,000 |
|            | 597,229 |

## 5. 齊藤勇記念出版賞基金 (3)

|            |         |
|------------|---------|
| 2021 年度繰越金 | 69,340  |
| 受賞者への褒賞    | △30,000 |
| 振込手数料      | △220    |
|            | 39,120  |

注記：

- (1) 1.の特別企画積立金の口座には、3.の英文特集号積立金と 4.の選挙費用積立金の一つの口座にて管理している。  
 (2) 2.の若手育成基金積立金は、当年度分が積み立てられている。  
 (3) 5.の齊藤勇記念出版賞基金の褒賞は、本部立替であったため、みずほ銀行口座に立替 1 名分を振り込んだ。

以上の通り相違ありません。

令和 5 年 7 月 1 日

令和 5 年 6 月 28 日

監事 久保 尚也 印

監事 深見 将志 印

**日本応用心理学会 2023 年度予算書**  
(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

| 収入の部               |            |            | 支出の部                   |            |            |
|--------------------|------------|------------|------------------------|------------|------------|
|                    | 予算額        | 前年度予算額     |                        | 予算額        | 前年度予算額     |
| <b>【会費】</b>        | 7,455,000  | 7,485,000  | <b>【事業費】</b>           | 1,680,000  | 1,180,000  |
| 過年度入金              | 400,000    | 400,000    | 第 89 回大会補助費            | 850,000    | 800,000    |
| 当年度入金（一般会員 835 名）  | 6,680,000  | 6,700,000  | 学会賞                    | 60,000     | 60,000     |
| 当年度入金（院生会員 40 名）   | 240,000    | 250,000    | 心理学諸学会連合年会費            | 60,000     | 60,000     |
| 当年度入金（学生会員 3 名）    | 9,000      | 9,000      | シンポジウム・講演費謝金           | 200,000    | 200,000    |
| 減免対象者              | 18,000     | 18,000     | 研修会講師料                 | 60,000     | 60,000     |
| 前受金                | 48,000     | 48,000     | 若手研究奨励金                | 100,000    | 0          |
| 賛助会員               | 60,000     | 60,000     | 選挙関連費                  | 350,000    | 0          |
| <b>【「応用心理士」関係】</b> | 400,000    | 400,000    | <b>【委員会活動費】</b>        | 1,250,000  | 1,180,000  |
| 審査料                | 100,000    | 100,000    | 機関誌編集委員会               | 300,000    | 300,000    |
| 認定料                | 300,000    | 300,000    | 企画委員会                  | 200,000    | 200,000    |
| <b>【機関誌・雑収入等】</b>  | 1,906,015  | 656,015    | 広報委員会                  | 300,000    | 300,000    |
| 機関誌売上              | 450,000    | 450,000    | 認定審査委員会                | 50,000     | 50,000     |
| 雑収入（大会校返戻金）        | 0          | 0          | 国際交流委員会                | 50,000     | 50,000     |
| 雑収入（大会論文集、抜き刷り等）   | 100,000    | 100,000    | 学会活性・研究支援委員会           | 100,000    | 30,000     |
| 著作権使用料             | 100,000    | 100,000    | 学会賞選考委員会               | 50,000     | 50,000     |
| 受取利息               | 15         | 15         | 倫理委員会                  | 30,000     | 30,000     |
| 減免補助（齊藤勇）          | 6,000      | 6,000      | 齊藤勇記念出版賞選考委員会          | 20,000     | 20,000     |
| 雑収入（ハンドブック印税）      | 800,000    | 0          | 学会史編纂委員会               | 150,000    | 150,000    |
| 選挙費用積立金より          | 350,000    | 0          | <b>【印刷費】</b>           | 4,260,000  | 3,560,000  |
| 若手研究奨励金            | 100,000    | 0          | 機関誌                    | 3,000,000  | 3,000,000  |
|                    |            |            | 広報関係                   | 1,000,000  | 500,000    |
|                    |            |            | その他                    | 60,000     | 60,000     |
|                    |            |            | 機関誌スタイル更新費             | 200,000    | 0          |
|                    |            |            | <b>【通信費】</b>           | 800,000    | 800,000    |
|                    |            |            | 機関誌郵送費（広報誌含）           | 500,000    | 500,000    |
|                    |            |            | その他（領収書、会費請求送料等）       | 300,000    | 300,000    |
|                    |            |            | <b>【事業外経費】</b>         | 3,415,000  | 3,245,000  |
|                    |            |            | 常任理事会交通費               | 400,000    | 100,000    |
|                    |            |            | 事務局運営費                 | 600,000    | 700,000    |
|                    |            |            | 事務局委託費                 | 1,500,000  | 1,500,000  |
|                    |            |            | 会計作業委託費                | 200,000    | 200,000    |
|                    |            |            | 機関誌電子投稿システム費           | 300,000    | 300,000    |
|                    |            |            | J-Stage 掲載費（機関誌第 48 巻） | 300,000    | 300,000    |
|                    |            |            | サーバーホスティング料            | 55,000     | 55,000     |
|                    |            |            | ドメイン料                  | 10,000     | 10,000     |
|                    |            |            | ハンドブック制作費              | 0          | 30,000     |
|                    |            |            | アプラスヘロ座決済手数料等          | 30,000     | 30,000     |
|                    |            |            | 予備費                    | 20,000     | 20,000     |
| 小計 (A)             | 9,761,015  | 8,541,015  | 小計 (B)                 | 11,405,000 | 9,965,000  |
|                    |            |            | (A) - (B) = 単年度収支      | △1,643,985 | △1,423,985 |
|                    |            |            | 前期繰越金                  | 4,379,720  | 3,243,518  |
|                    |            |            | 次期繰越金 (C)              | 2,735,735  | 1,819,533  |
|                    |            |            | 特別企画積立金                | 800,000    | 0          |
|                    |            |            | 英文特集号積立金               | 250,000    | 250,000    |
|                    |            |            | 選挙関連費用積立金              | 150,000    | 150,000    |
|                    |            |            | 若手育成基金積立金              | 100,000    | 100,000    |
|                    |            |            | 積立金計 (D)               | 1,200,000  | 500,000    |
|                    |            |            | 次期繰越金 (C) - (D)        | 1,535,735  | 1,319,533  |
| 合計                 | 9,761,015  | 8,541,015  | 合計 (B) + (D)           | 12,605,000 | 10,465,000 |
| 前年度繰越金             | 4,379,720  | 3,243,518  | 次期繰越金                  | 1,535,735  | 1,319,533  |
| 合計                 | 14,140,735 | 11,784,533 | 合計                     | 14,140,735 | 11,784,533 |

## &lt;別途会計&gt;

## 1. 特別企画積立金 (1)

|            |           |
|------------|-----------|
| 2022 年度繰越金 | 3,390,224 |
| ハンドブック印税   | 800,000   |
| 受取利息       | 30        |
|            | <hr/>     |
|            | 4,190,254 |

## 2. 若手育成基金積立金 (2)

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| 2022 年度繰越金          | 2,384,038 |
| 2023 年度積立金          | 100,000   |
| 受給 1 名 (2023 年度受賞者) | △100,000  |
| 受取利息                | 15        |
|                     | <hr/>     |
|                     | 2,384,053 |

## 3. 英文特集号積立金 (1)

|            |           |
|------------|-----------|
| 2022 年度繰越金 | 1,151,512 |
| 2023 年度積立金 | 250,000   |
|            | <hr/>     |
|            | 1,401,512 |

## 4. 選挙費用積立金 (1)

|              |          |
|--------------|----------|
| 2022 年度繰越金   | 597,229  |
| 2023 年度積立金   | 150,000  |
| 2023 年度選挙関連費 | △350,000 |
|              | <hr/>    |
|              | 397,229  |

## 5. 齊藤勇記念出版賞基金 (3)

|            |         |
|------------|---------|
| 2022 年度繰越金 | 39,120  |
| 受賞者への褒賞    | △30,000 |
| 振込手数料      | △440    |
|            | <hr/>   |
|            | 8,680   |

## 2023 年度 第 3 回常任理事会：議事録

日 時：2023 年 8 月 27 日（日）

11 時 40 分～13 時 20 分

場 所：亜細亜大学 2 号館 236 教室

出席者：古屋健（理事長）、田中真介（副理事長）、  
上瀬由美子\*、軽部幸浩、川本利恵子\*、木村友昭、  
桐生正幸、小林剛史、田中堅一郎、谷口淳一（以  
上、常任理事）  
来田宣幸（第 88 回大会委員長）\*、高石光一（第 89  
回大会委員長）、谷口淳一（第 90 回大会委員長）  
事務局：軽部幸浩（事務局長）、時田学、山田順子\*  
（以上、幹事）

（\*は欠席者：敬称略、五十音順）

## I 報告事項

## 1. 理事長挨拶（古屋健理事長）

・理事長より、常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

## 2. 各委員会報告

## 1) 機関紙編集委員会（上瀬由美子委員長）

・特になし。

## 2) 企画委員会（桐生正幸委員長）

・特になし。

## 3) 広報委員会（谷口淳一委員長）

・特になし。

## 4) 「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）

・阿部光弘氏は、資格要件 2 号により認定可能（第 82 回大会、第 83 回大会発表。シンポジウム話題提供、研修会講師などを担当）。

・認定カード印刷 PC（Windows 8）購入の希望について報告があった。

## 5) 国際交流委員会（代読：軽部幸浩事務局長）

・特になし。

## 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）

・特になし。

## 7) 学会活性化委員会（田中堅一郎委員長）

・特になし。

## 8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（代読：軽部幸浩事務局長）

・特になし。

## 9) 倫理委員会（田中真介委員長）

・特になし。

## 10) 学会史編集委員会（古屋健委員長）

・特になし。

## 3. 終身会員候補者について（古屋健委員長）

・令和 6（2023）年 3 月 31 日時点で 70 歳になる終身会員候補者について報告があった。

## 4. 第 88 回大会について（古屋健理事長）

・2022 年 9 月 17 日～18 日に京都工芸繊維大学で開催された第 88 回大会について報告された。

・次回の常任理事会で来田大会委員長より報告があることが説明された。

## 5. その他

## 1) 大会発表論文の発行について（古屋健理事長）

・基本的に大会開催までに印刷発行、なお遅くとも年度内に必ず発行すること。

## 2) 英文の入会申込書について（軽部幸浩事務局長）

・インドネシアからの入会希望者に、特別に用意した英文入会申込書を送付する。

## II 審議事項

## 1. 2024 年度名誉会員推挙の件（古屋健理事長）

・浮谷秀一氏、川本利恵子氏、松浦常夫氏、向井希宏氏、蓮花一己氏の 5 名が推挙され審議の結果、承認された。

## 2. その他

・特になし。

※次回の常任理事会は、2023 年 12 月 2 日（土）14

時から、立正大学心理学研究所で開催予定である。審議予定は、次期理事選挙結果報告、推薦理事選出、優秀大会発表賞選考など。

以上

# 会員異動

(2023年5月16日～2023年10月25日の異動)

## 入会者

|        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 安藤 智子  | 石川 利江  | 伊東 新太郎  |
| 伊藤 倫   | 岡 恭正   | 岡本 ひなこ  |
| 梶田 真実  | 金内 さよ  | 神崎 明奈   |
| 木村 貴彦  | 呼和 朝魯  | 小林 和子   |
| 近内 晶子  | 酒向 治子  | 澤田 戒    |
| 高木 浩人  | 立川 友賀  | 田中 克実   |
| 田中 知恵  | 津田 涼太郎 | 東條 真希   |
| 富永 日向子 | 中村 創   | 橋本 育実   |
| 範 蘭心   | 福井 悠斗  | 藤澤 拓人   |
| 堀 淳    | 巻田 晴香  | 三ツ村 美沙子 |
| 三宅 沙侑美 | 宮本 有梨子 | 山内 春佳   |
| 山内 裕斗  | 遊間 義一  | 吉村 利佐子  |

(以上, 敬称略)

## 退会者 (希望退会)

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 大久保 健一 | 木曾 結乃  | 木藤 恒夫  |
| 栗原 通世  | 黒田 喜久二 | 左 婉馨   |
| 千島 直樹  | 萩原 涼子  | 宮城 利佳子 |
| 宮本 昇   | 向井 智哉  | 李 先海   |

(以上, 敬称略)

## 謹弔

名誉会員の宮本昇氏(1925年12月22日～2023年10月12日)が, ご逝去されました。終身会員の黒田喜久二氏(1930年10月14日～2023年7月)が, ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。